

鈴木県立大学長が受賞

米・ブレークスルー賞

ニュートリノ研究

基礎物理学 5グループ共同

米アップルやグーグル、フェイスブックの企業首脳らが創設した団体が顕著な科学研究に贈る2016年の「ブレークスルー賞」の表彰式が8日（日本時間9日）、米サンフランシスコで行われ、素粒子ニュートリノに質量があることを確認した鈴木厚人^{あつと}県立大学長（69）＝高エネルギー物理学Ⅱらのグループが基礎物理学賞を受賞した。ニュートリノ研究で今年ノーベル物理学賞に決まった梶田隆章・東京大宇宙線研究所長ら5グループの共同受賞。鈴木学長が長年取り組んできた宇宙の謎に迫る研究が世界で高い評価を受けた。

【関連記事2、33面】

の山中伸弥京都大教授が13年に受賞している。賞金は世界最高水準とされる300万ドル（約3億7千万円）で、5グループで分ける。

ブレークスルー賞 米国のブレークスルー賞財団が主催する賞で2012年創設。基礎物理学のほか、生命科学、数学分野で先進的な科学研究に贈る。財団の創設者には米アップルやグーグル、フェイスブックの企業首脳らが名を連ねる。賞の名称のブレークスルーには「躍進、突破口」「大きな進展」などの意味がある。

16年のブレークスルー賞は、基礎物理学の分野でニュートリノ振動実験に関する五つのグループが選ばれた。日本はこのうち▽スーパーカミオカンデ（岐阜

県飛騨市）▽カムラン（同）▽長基線ニュートリノ振動実験K2K・T2Kの計三つのプロジェクトが受賞した。

鈴木学長は飛騨市神岡町の地下に観測装置「カムランド」をつくらせて実験。ニュートリノに質量があることを観測した。



鈴木厚人学長

日本のほかには、中

質量の存在を示した

鈴木厚人県立大学長の話 今回の5グループの受賞は、ニュートリノに有限の質量が存在することを示したもので、数年前に発見されたヒッグス粒子による素粒子標準理論の確立を凌駕（りょうが）する。さらなる素粒子統一理論の存在を示唆するもの。国際リニアコライダー（ILC）が建設されれば、素粒子統一理論の精密な研究が行われ、ビッグバン以前の宇宙誕生の仕組みが解明される。

鈴木厚人氏（すずきあつと）東北大学院理学研究科博士課程修了。同大副学長、高エネルギー加速器研究機構長を経て15年4月県立大学

長。専門は高エネルギー物理学。著書に「ニュートリノでわかる宇宙・素粒子の謎」。69歳。盛岡市在住、新潟県生まれ。